

のびゆく松戸 ポスティング・ボランティアのお願い

市内各駅にて「**のびゆく松戸**」をお渡ししていますが、お渡しできる方は限られています。

より多くの方々にお届けできるように、ご自宅の周辺などに「**のびゆく松戸**」をポスティングして下さる方のご協力をお願いしています。

ポスティングにご協力いただける場合には、下記「事務所」宛にお電話、FAX、メールにてお知らせいただけましたら幸いです。

末松ひろと

プロフィール

学歴職歴（下線は現職）

松戸市議会議員（7期連続当選）
聖徳大学附属幼稚園
松戸市立柿ノ木台小学校
松戸市立第二中学校
千葉県立国府台高等学校
慶應義塾大学法学部政治学科
株式会社熊谷組
千葉商科大学大学院・客員教員
保護司（松戸地区保護司会）

その他の経歴

第59代松戸市議会議長
松戸市監査委員
議会活性化委員会委員長
議員定数等協議会委員長
公共施設再編特別委員会委員長
松戸市環境審議会委員
松戸市都市計画審議会委員
松戸市青少年問題協議会委員
千葉県薬物乱用防止指導員

末松ひろと事務所 〒271-0087 松戸市三矢小台5-24-4

TEL/FAX 047-366-6605 E-mail suematsu-hiroto@nifty.com

のびゆく松戸

2024.09

松戸市議会議員 末松ひろと

市政レポート



住んでよいまち・日本一をめざして

末松ひろと

市政リポート

私が行った本会議での議論の一部を抜粋して掲載します。

【質問】公共施設再編整備の進め方について

老朽化して更新時期を迎えている公共施設整備の問題の本質は財源の問題であり、維持管理も含めて持続可能な公共施設のあり方をどう実現していくのかということでもあります。

この際には、施設の統廃合、複合化などを通して「量の最適化」を目指すべきであり、ポイントはこの最適な量をどのように描くのか、到達目標を明確にして政策評価をきちんとしていくことが肝要ではないかと考えます。

また、基本的には今までのような拡大ではなく、縮小・集約の方向を目指すことになると考えますので、市民の理解と協力を得る必要があります。そのためにも将来像を、計画を通して明確にすることで「説明責任を果たす」ことも必要不可欠と考えます。

今後の計画策定におけるこの点での当局の見解を伺います。

【当局答弁】

議員御指摘のとおり、目的は財政負担の平準化を図り、公共施設に求められる機能や性能を確保することです。まずは施設の構造、使用年数、改修状況や周辺施設の状況などを考慮しながら、長寿命化に向けた改修を進めてまいりたいと考えております。

また、長寿命化の取組の先に、既存施設の集約化・複合化、統廃合などを明確にし、公共施設マネジメントの全体像をお示ししていくことが必要であると考えております。

説明責任を果たしながら、どのような方法で市民の御理解と御協力を得て、公共施設のマネジメントを進めていくのが望ましいか、引き続き課題として取り組んでまいります。

【質問】広域行政の進め方について

施設の大規模改修や建て替え、再構築を行うのであれば、広域でそれらを実現していく視点を積極的に持ち合わせられないかということでもあります。

本市においては、今後、ごみ処理、し尿処理、火葬場、文化施設などの施設更新の際には、そのサービスを維持しながら費用負担の縮減を図るために、他自治体との共同運用を検討するなど、大規模改修や建て替えに併せてそれを実現すべく可能性を探るべきと考えます。

具体的には、本市は現在「東葛広域行政連絡協議会」に参画しておりますが、そのようなテーブルを活用して、もっと積極的かつ具体的に広域行政に取り組みられたらいかがかと考えます。

また今後、例えば矢切耕地の開発などが検討される際には、東京都下の区との政策連携、願わくば財政負担も含めた連携を模索していただけないものかと考えます。

現在の取り組み状況も含めてご見解をお聞かせ下さい。

【当局答弁】

広域行政は一つの転換期にあると認識しております。既存の広域連携の枠組みの推進はもとより、これまでの枠組みにとらわれない、例えば鉄道沿線や、あるいは江戸川を挟んだ東京都葛飾区、江戸川区、松戸市、市川市などの自治体間での連携など、県の行政区分の異なる隣接自治体との連携も含めて、新たな切り口の広域連携を展開していくことが重要であると認識しております。今後は関係する自治体と協力連携しながら、広域行政を進めてまいりたいと考えております。

議論の詳細は市議会ホームページ動画にて →

